

実績報告書:新しい見守り社会実現プロジェクト（事業者名:岩崎電気株式会社）

■ 実績報告書の概要

技術実証の概要

- 新しい見守り社会の実現
 - 「昔ながらの、地域のおじさん、おばさんによる見守り」を「見守り技術と警備会社による見守り」に置き換え、児童、高齢者が皆ビーコンタグを持ち、道路灯・防犯灯・街路灯などの屋外照明器具に検知器を搭載することがあたりまえの世の中を実現する。
 - パソコンが苦手な人や、旅行者にも届きやすい情報提供技術により、暮らしやすく、災害にも強い街づくりにつなげる。
- 方法
 - 実績のある見守りサービスを活かし、ビーコンタグを検知できるデバイス（＝検知器）を内蔵した照明器具を開発、提供し、検知器の数・密度を向上させる。
 - 天気予報やイベント告知、防災情報の配信などもおこなえるサイネージ(電子情報板)を開発し、これを見守りサービスとも連携(サービスのPRや、可能なら「検索依頼」等も)させる。



技術実証の実施内容

- <検知器を内蔵した照明器具>
 - 実績のある見守りサービスを活かし、ビーコンタグを検知できるデバイス（＝検知器）を内蔵した照明器具を開発、提供し、検知器の密度を向上させる。
- [実施事項]
 - 検知器を内蔵した照明器具を、ビーコンタグ利用者の往来が比較的多いと想定される場所に設置し、運用することで、照明器具型でも問題なくビーコンタグを検知できることを実証する。
 - 設置した照明器具の検知範囲と、照明器具に内蔵していない検知デバイスの検知範囲とを比較し、課題の有無を評価する。
- [実施内容]
 - 7月～8月中旬:採択後、設置場所について加古川市様と協議・調整し、実証実験への利用が可能、かつ小中学校の近くである「浜の宮公園」に決定した。
 - 10月5日(木):「浜の宮公園」で検知器内蔵照明器具の施工を完了した。検知範囲の実測、比較を行い、運用を開始した。
 - 2月15日(木):「浜の宮公園」での追加評価として、検知器内蔵照明器具の向きを変えて検知範囲に影響が出るかを評価した。その後、原状復帰工事をおこなった。



取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

- <検知器を内蔵した照明器具【成果まとめ】>
 - 照明器具に内蔵しても問題なくビーコンタグを検知できることを実証する。
 - 照明器具に内蔵していない検知器と検知範囲を比較し、課題の有無を評価する。
- 目標：設置距離30mの条件で運用可能であること
 - ⇒評価① 検知範囲が照明器具直下から半径20m以上あることを確認する。
 - ⇒結果：検知器の内蔵自体は問題なし。検知もできた。
 - 一方、目標通りの成果が得られたものと、そうでないものがあった。これは検知器内蔵照明器具と検知位置の間を遮るように木の枝葉などがある条件において、植物中の水分により電波具合によってBLE電波の減衰が発生した影響と推測する。
- ⇒評価② 照明器具を設置したポールに共架されている見守りカメラに内蔵された検知器と検知実績を突き合わせ、漏れがないことを確認する。
 - ⇒結果：11月8日にテスト用タグを駐車場の見守りカメラで検知しなかったが、その1件以外は、内蔵の検知器とで検知実績に差異無し。(他のカメラでは検知)照明器具に内蔵しても、検知はできた。
 - ただし、今回選定した検知器が今回の用途に最適ではなかったことが最終的に判明し、これに由来する検知不良が複数回発生した。



今後の展開

- <検知器を内蔵した照明器具>
 - 下記課題が明らかになったため、これに対応した、新たな照明器具用検知器の開発と商品化の検討をおこなう。
 - 照明器具が設置される場所は高所のため、樹木などによる電波吸収の影響を考慮し、電波強度・アンテナの最適化が必要
 - 照明器具の耐用年限(寿命)である8～10年分の連続稼働を前提とした設計の最適化が必要
 - メンテナンスに備え、交換やメモリのリセット作業が容易な構造が必要
- <サイネージ>
 - 商品化の検討
 - 「見守りサービス連携サイネージ」のハード、検索依頼に関するAPI連携、検索依頼の発信画面、コンテンツ配信管理システムが完成したので、これの商品化を検討する。
 - 検知器としての運用について、長期信頼性の評価をおこなう。
- その他、下記に対応した機能の開発を検討する。
 - 災害情報、気象情報を求める声が多いので、これに対応した画面構成、表示パターン
 - 時刻表を常時表示できるような画面構成

技術実証の概要

■ 技術実証の概要

• 新しい見守り社会の実現

- 「昔ながらの、地域のおじさん、おばさんによる見守り」を「見守り技術と警備会社による見守り」に置き換え、児童、高齢者が皆ビーコンタグを持ち、道路灯・防犯灯・街路灯などの屋外**照明器具に検知器を搭載することがあたりまえの**世の中を実現する。
- パソコンが苦手な人や、旅行者にも届きやすい情報提供技術により、暮らしやすく、災害にも強い街づくりにつなげる。

• 方法

- 実績のある見守りサービスを活かし、ビーコンタグを検知できるデバイス（＝検知器）を内蔵した照明器具を開発、提供し、検知器の数・密度を向上させる。
- 天気予報やイベント告知、防災情報の配信などもおこなえる**サイネージ(電子情報板)**を開発し、これを見守りサービスとも連携(サービスのPRや、可能なら「検索依頼」等も)させる。



技術実証の実施内容

■ 技術実証の実施内容

<検知器を内蔵した照明器具>

- 実績のある見守りサービスを活かし、ビーコンタグを検知できるデバイス(=検知器)を内蔵した照明器具を開発、提供し、検知器の密度を向上させる。



[実施事項]

- 検知器を内蔵した照明器具を、ビーコンタグ利用者の往来が比較的多いと想定される場所に設置し、運用することで、照明器具型でも問題なくビーコンタグを検知できることを実証する。
- 設置した照明器具の検知範囲と、照明器具に内蔵していない検知デバイスの検知範囲とを比較し、課題の有無を評価する。

[実施内容]

- 7月～8月中旬:採択後、設置場所について加古川市様と協議・調整し、実証実験への利用が可能、かつ小中学校の近くである「浜の宮公園」に決定した。
- 10月5日(木):「浜の宮公園」で検知器内蔵照明器具の施工を完了した。検知範囲の実測、比較を行い、運用を開始した。
- 2月15日(木):「浜の宮公園」での追加評価として、検知器内蔵照明器具の向きを変えて検知範囲に影響が出るかを評価した。その後、原状復帰工事をおこなった。

技術実証の実施内容

■ 技術実証の実施内容

<見守りサービス連携サイネージ>

- 天気予報やイベント告知、防災情報の配信などもおこなえるサイネージ(電子情報板)を開発し、これを見守りサービスとも連携(サービスのPRや、可能なら「搜索依頼」等も)させる。



[実施事項]

- 防災情報ほか各種の情報発信はもちろん、見守りサービスの「搜索依頼」と連携できるよう開発したサイネージを設置し、日常生活の質の向上、および、見守りサービスとの連携によって犯罪防止効果に寄与することを実証する。

[実施内容]

- 7月～8月中旬:採択後、設置場所について加古川市様と協議・調整し、JR加古川駅への設置のため、JR西日本様と交渉する方針に決定した。(その後、交渉成功した)
並行して「搜索依頼」と連携する技術開発を実施した。
- 12月8日(金):JR加古川駅コンコースにサイネージを設置。
市政情報コンテンツを発信開始。
「搜索依頼」機能は現地でテスト発信を実施し、問題なく動作することを確認した。
- 2月16日・17日:15日より天気情報も追加。金曜・土曜で街頭アンケート実施。
- 2月29日(木):サイネージを撤去し、原状復帰をおこなった。

取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<検知器を内蔵した照明器具【目標】>

- 照明器具に内蔵しても問題なくビーコンタグを検知できることを実証する。
- 照明器具に内蔵していない検知器と検知範囲を比較し、課題の有無を評価する。



- 目標 : 設置距離30mの条件で運用可能であること
⇒評価① 検知範囲が照明器具直下から半径20m以上あることを確認する。

- ◆ 国土交通省「LED道路・トンネル照明設置に関する補完資料」や日本防犯設備協会技術標準「SESE1901」より、「平均照度5lx」の明るく安全な環境を提供する照明器具の設置間隔は、最大でも30mと想定できるため、設置距離30mを判定基準に採用した。
⇒1灯あたり15mの検知距離が必要 ⇒マージンを入れて20mとする。

- ⇒評価② 照明器具を設置したポールに共架されている見守りカメラに内蔵された検知器と検知実績を突き合わせ、漏れがないことを確認する。

- ◆ カメラに内蔵の検知器とは仕様が異なり、検知距離に差があることと、見守りカメラの実績を基準に突き合わせすることは仕組み上困難であることから、照明器具で検知したタグ情報を基準に突き合わせをおこなう。

取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<検知器を内蔵した照明器具>
 ➤ 下記の通り、浜の宮公園に設置

- ➡ 既設配線(埋め込み)
- ➡ 新設配線(仮設、保護管)
- 配光形状イメージ

【ポールA】 ロードS設置
 ポール先端までの高さ:4.5m



【ポールB】 ラムス#1設置
 ポール先端までの高さ:4.5m
 ※見守りカメラ共架



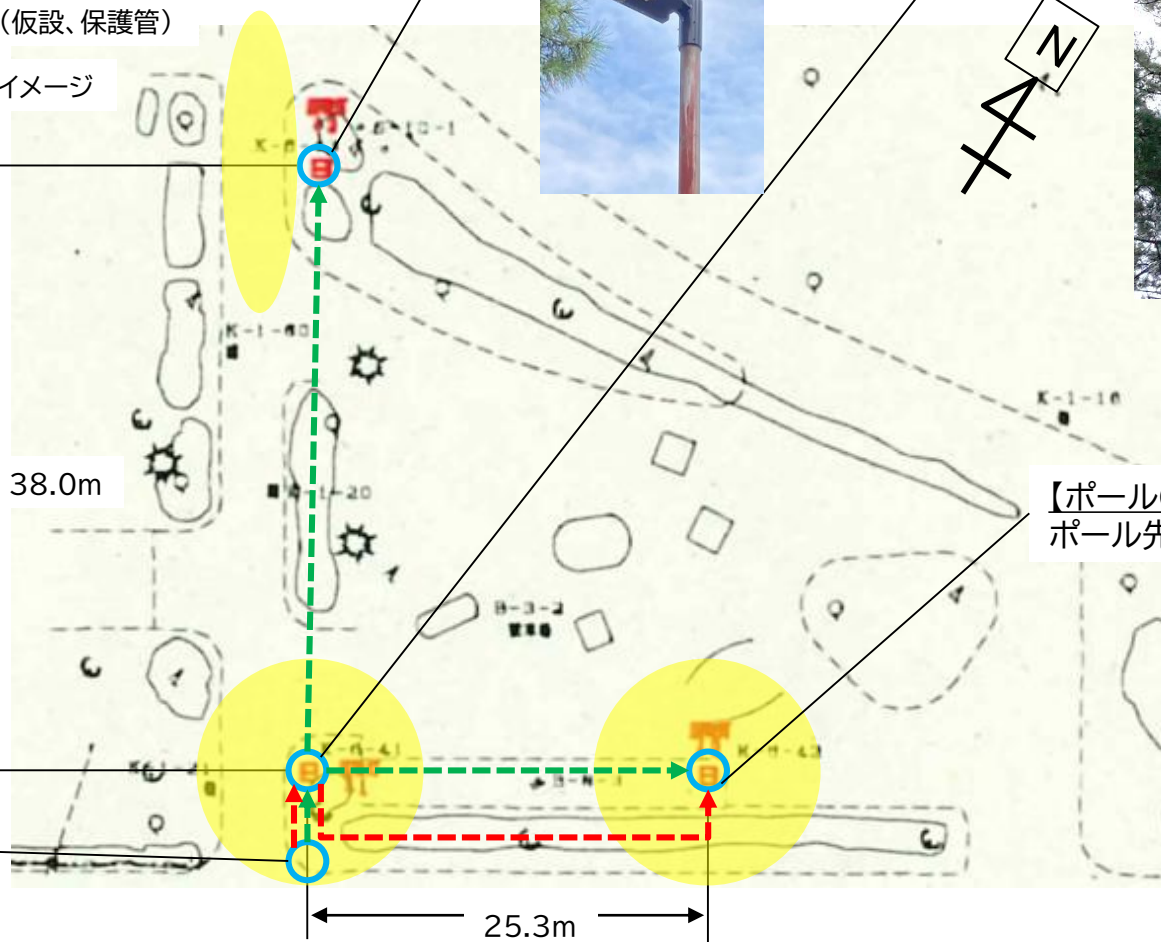
【ポールC】 ラムス#2設置
 ポール先端までの高さ:4.5m



分電盤

38.0m

25.3m



取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<検知器を内蔵した照明器具>

➤ 10月5日(木) 設置後日中および夜19時ごろの照明器具周辺の様子

【ポールA】 ロードS
ポール先端までの高さ:4.5m
直下照度:28.4lx



【ポールB】 ラムス#1
ポール先端までの高さ:4.5m
※植栽のため直下照度は測定不可
(光束はラムス#2と同等)



【ポールC】 ラムス#2
ポール先端までの高さ:4.5m
直下照度:17.4lx
※ほかの場所の既設照明は17.9lx



取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<検知器を内蔵した照明器具>

- ①の成果 : 目標通りの成果が得られたものと、そうでないものがあった。
 - ・ 街路灯ラムス#1 … 問題なし いずれの方向も20m確保
 - ・ 街路灯ラムス#2 … 課題あり 1方向のみ20m未達(15m)
 - ・ 歩道灯ロードS … 課題あり 1方向のみ20m未達(10m)
 - ・ (比較)ロードSの直下に置いた、照明器具に内蔵していない露出検知器
… いずれの方向も30m確保

方角	街路灯ラムス#1				街路灯ラムス#2				歩道灯ロードS				露出検知器(ロードS直下)			
	10m	20m	30m	40m	10m	20m	30m	40m	10m	20m	30m	40m	10m	20m	30m	40m
北西		検知					検知				検知				検知	
北			検知			検知				検知	柵のため測定不可			検知	柵のため測定不可	
北東				検知			検知		検知						検知	
東				検知			検知				検知				検知	
南東			検知				検知			検知					検知	
南		検知					検知				検知				検知	
南西			検知					検知				検知				検知
西		検知						検知			検知					検知

取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<検知器を内蔵した照明器具>

- ①の成果 : 目標未達のものについて、原因の深掘りを実施。
 - ・ 歩道灯ロードS … 10月5日測定時 1方向のみ20m未達(10m)
→2月15日に照明器具の向きを、元々の南西向きで再測定し、
その後、北東向きに変えて測定実施。
→ロードS南西向きの時、背面である北東で20m到達。
→ちょうど検知エリアを覆うように松の枝葉(右図)があったため、
季節による枝葉の繁茂具合(水分)が影響していると推測する。



器具北東向き

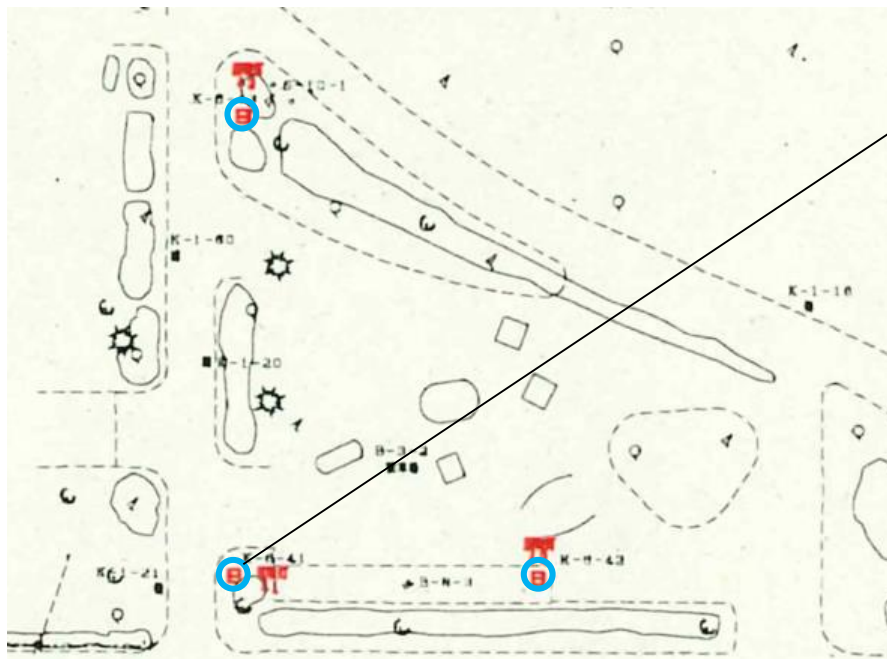
方角	歩道灯ロードS (10月5日)			方角	歩道灯ロードS (2月15日)						露出検知器 (2月15日:ロードSのすぐ横で保持)					
	器具 南西向き				器具 南西向き			器具 北東向き			器具 南西向き			器具 北東向き		
	10m	20m	30m		10m	20m	30m	10m	20m	30m	10m	20m	30m	10m	20m	30m
北西			検知	北西	測定せず			測定せず			測定せず			測定せず		
北		検知	測定不可	北	測定せず			測定せず			測定せず			測定せず		
北東	検知			北東		検知				検知			検知			検知
東			検知	東	測定せず			測定せず			測定せず			測定せず		
南東		検知		南東	測定せず			測定せず			測定せず			測定せず		
南			検知	南	測定せず			測定せず			測定せず			測定せず		
南西			検知	南西			検知			検知			検知			検知
西			検知	西	測定せず			測定せず			測定せず			測定せず		

取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<検知器を内蔵した照明器具>

- ②の成果 : 11月8日にテスト用タグを駐車場の見守りカメラで検知しなかったが、その1件以外は、内蔵の検知器とで検知実績に差異無し。
上記の1件でも他のカメラでは検知しているため、当該のタグ保持者の移動経路の影響の可能性が考えられる。
再現性がないため、この1件については問題視しない。



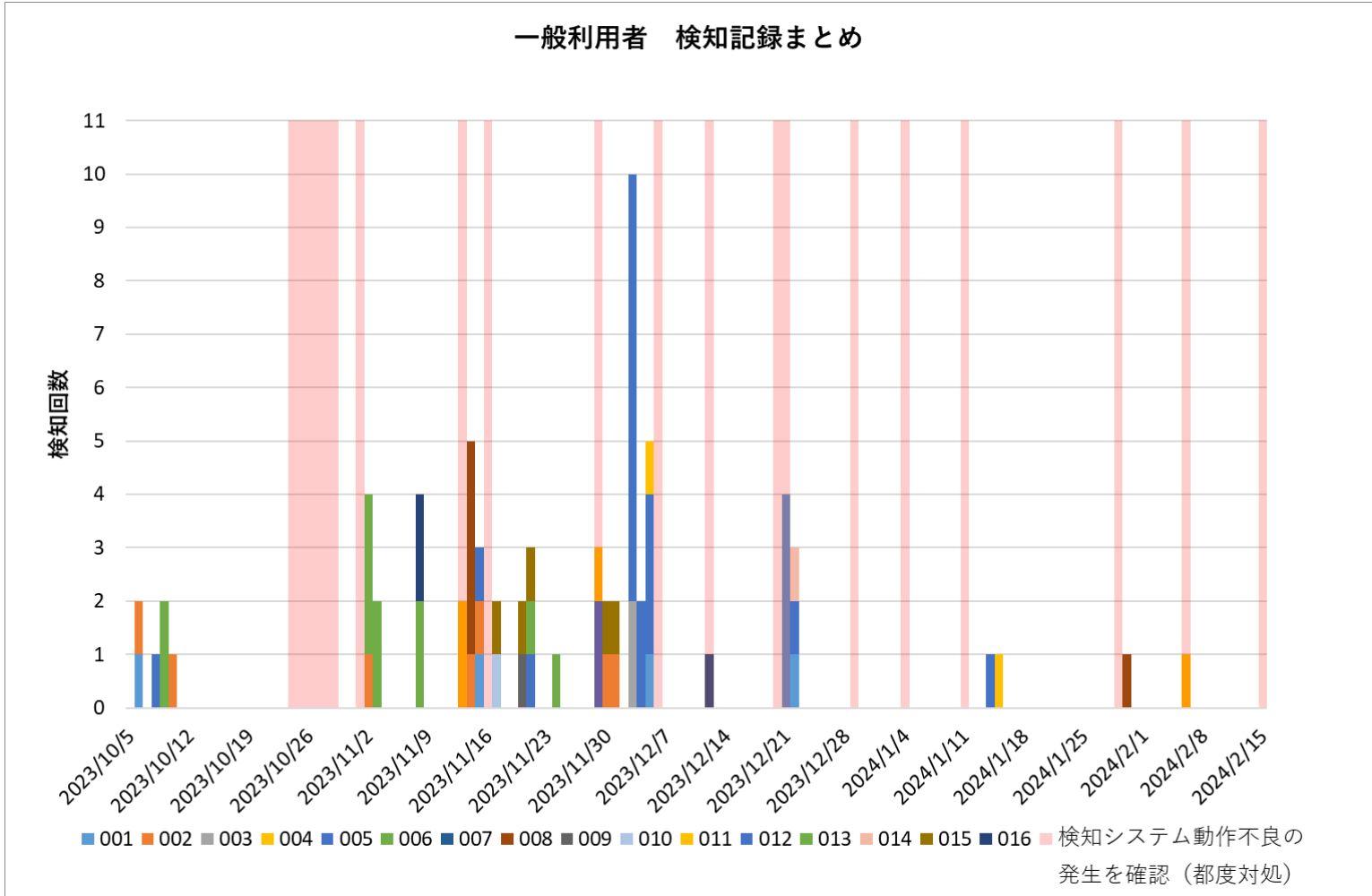
【ポールB】 ラムス#1設置
ポール先端までの高さ:4.5m
※見守りカメラ共架



■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<検知器を内蔵した照明器具>

- ②の成果：検知実績は以下の通り。



取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

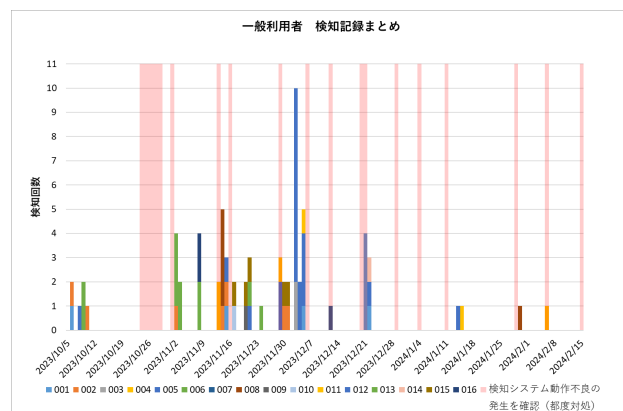
■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<検知器を内蔵した照明器具>

- 検知システム動作不良が発生した原因：
検知器(車載器KC4-C-100A)をご提供いただいたALSOK様に調査いただいた結果、下記見解をいただいた。(2月26日入手)

ALSOK様の見解：下記①～③を踏まえ、タグ検知情報、ログなどを一時的にストックしておくメモリーがフルになったことで書き込みエラーとなり処理が止まってしまったと考えられる。

- ①車載(自動車等へ設置)することを前提としているため、連続1週間のような連続稼働を想定していない検知器であること
- ②連続稼働によりアプリケーション利用のメモリーが不足し、処理不可の状態になりタグを検知できない症状が出る
- ③数時間程度で電源ON/OFFすれば、メモリーが解放されるため症状は出ない(利用可能)



取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<検知器を内蔵した照明器具【成果まとめ】>

- 照明器具に内蔵しても問題なくビーコンタグを検知できることを実証する。
- 照明器具に内蔵していない検知器と検知範囲を比較し、課題の有無を評価する。



- 目標 : 設置距離30mの条件で運用可能であること

⇒評価① 検知範囲が照明器具直下から半径20m以上あることを確認する。

⇒結果 : 検知器の内蔵自体は問題なし。検知もできた。

一方、目標通りの成果が得られたものと、そうでないものがあった。
これは検知器内蔵照明器具と検知位置の間を遮るように
木の枝葉などがある条件において、植物中の水分により繁茂具合に
よってBLE電波の減衰が発生した影響と推測する。

⇒評価② 照明器具を設置したポールに共架されている見守りカメラに内蔵
された検知器と検知実績を突き合わせ、漏れがないことを確認する。

⇒結果 : 11月8日にテスト用タグを駐車場の見守りカメラで検知しなかったが、
その1件以外は、内蔵の検知器とで検知実績に差異無し。(他のカメラでは
検知)照明器具に内蔵しても、検知はできた。

ただし、今回選定した検知器が今回の用途に最適ではなかったことが
最終的に判明し、これに由来する検知不良が複数回発生した。

取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<見守りサービス連携サイネージ【目標】>

- 防災情報ほか各種の情報発信はもちろん、見守りサービスの「搜索依頼」と連携できるよう開発したサイネージを設置し、日常生活の質の向上、および、見守りサービスとの連携によって犯罪防止効果に寄与することを実証する。
 - 目標： 日常生活の質の向上、および犯罪防止効果に寄与する。
 - ⇒評価① アンケートでサイネージによる情報発信の効果を評価する。
 - ⇒評価② 見守りサービスの「搜索依頼」をサイネージでテスト発信
 - ⇒通行者、駅、店舗などへの影響を考慮し、実施しないこと
とし、スタッフがいる状態での、現地でのテスト発信・動作確認のみとした。
 - ⇒評価③ 見守りサービス連携のサイネージによって見守りサービスの認知度がどの程度向上したのか。
 - ⇒①のアンケート結果で判断することとした。
- 右図のように、JR加古川駅コンコースに設置した。
コンテンツはバス時刻表の他、加古川市様作成の市政情報を表示。
(2023年12月8日～2024年2月29日)



取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<見守りサービス連携サイネージ>

➤ アンケート実施日 : 2月15日(金) 9:30~16:30

2月16日(土) 9:30~16:30

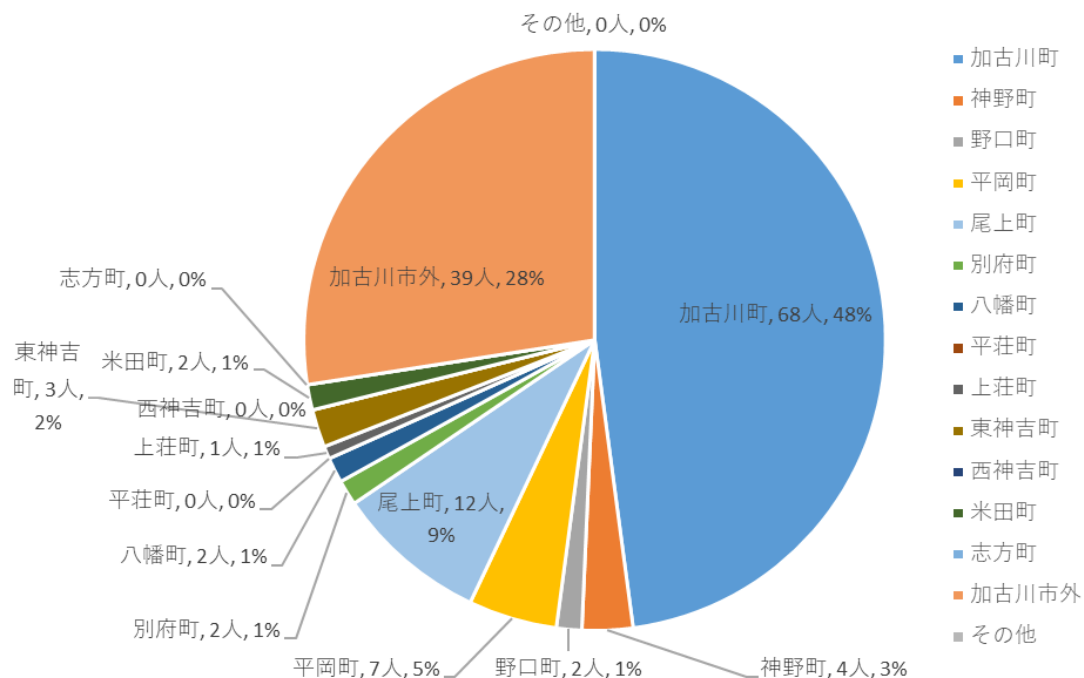
※JR加古川駅南口で実施(右図)

➤ アンケート回答者数 : 142名

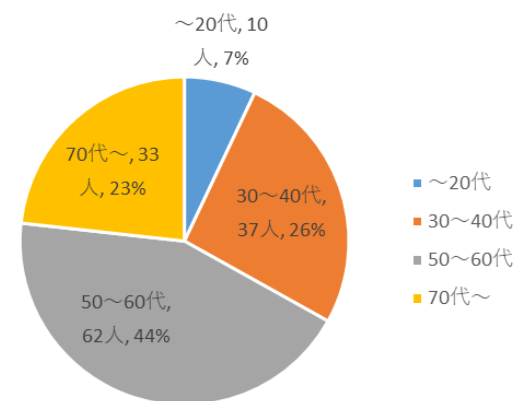


アンケート期間中はサイネージを
アンケート場所に移動し、説明に
使用した

回答者お住まい：合計142人



回答者年齢：合計142人



取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<見守りサービス連携サイネージ>

- ①の成果 : 街頭アンケートの結果は以下の通り。
サイネージによって初めて情報を知ったという声も多く、弊社の見守り連携サイネージの有効性を実証できたと判断する。
(※50%を超えた場合を有効とみなした)

効果	質問または集計内容	回答種類	割合
日常生活向上	サイネージにより、改札前で天気予報を確認できると便利ですか？	大変そう思う+まあそう思う	81%
	サイネージがなくなり、改札前でバス停の場所を確認できなくなると、不便ですか？	大変そう思う+まあそう思う	66%
	市外在住の方:サイネージバス案内によって不便なく安心してバスを利用できると思いますか？	大変そう思う+まあそう思う	80%
防災情報	非常時にサイネージに避難情報などが表示されたら助けになりますか？	大変そう思う+まあそう思う	92%
	サイネージに表示されて役に立つコンテンツはありますか？	気象警報・注意報	66%
		緊急地震速報	65%
パソコンが苦手な人に届きやすい情報提供	初めて知った市政情報があつた割合	～20代	80%
		30～40代	76%
		50～60代	74%
		70代～	70%
	非常時にサイネージに避難情報などが表示されたら助けになりますか？	～20代	100%
		30～40代	97%
		50～60代	94%
		70代～	82%
旅行者に届きやすい情報提供	市外在住の方:サイネージバス案内によって不便なく安心してバスを利用できると思いますか？	大変そう思う+まあそう思う	80%
	加古川市外の人に届きやすい情報	初めて知った市政情報があつた割合	69%
見守りの認知度向上(犯罪抑止効果への寄与)	加古川市が取り組んでいる見守りサービスを知っていましたか？	知っていた	43%
		知らなかった	57%
	見守りサービスを知らなかったと答えた人のうち、サイネージで初めて知ったと答えた割合	～20代	29%
		30～40代	25%
		50～60代	35%
		70代～	30%
	<検索依頼>見守りタグアプリの検索依頼対象者が、サイネージの側にいると下記コンテンツを表示して周囲の人に周知する機能を予定しています。下記のコンテンツをみて、みまもりアプリを利用しようと思いましたか？	大変そう思う+まあそう思う	54%

取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<見守りサービス連携サイネージ>

- ②の成果 : 通行者、駅、店舗などへの影響を考慮し、「搜索依頼」発信に気づいた人数や割合の測定は実施しないこととした。
下記写真のとおり、スタッフがいる状態で、現地でのテスト発信・動作確認のみを実施した。
問題なし。



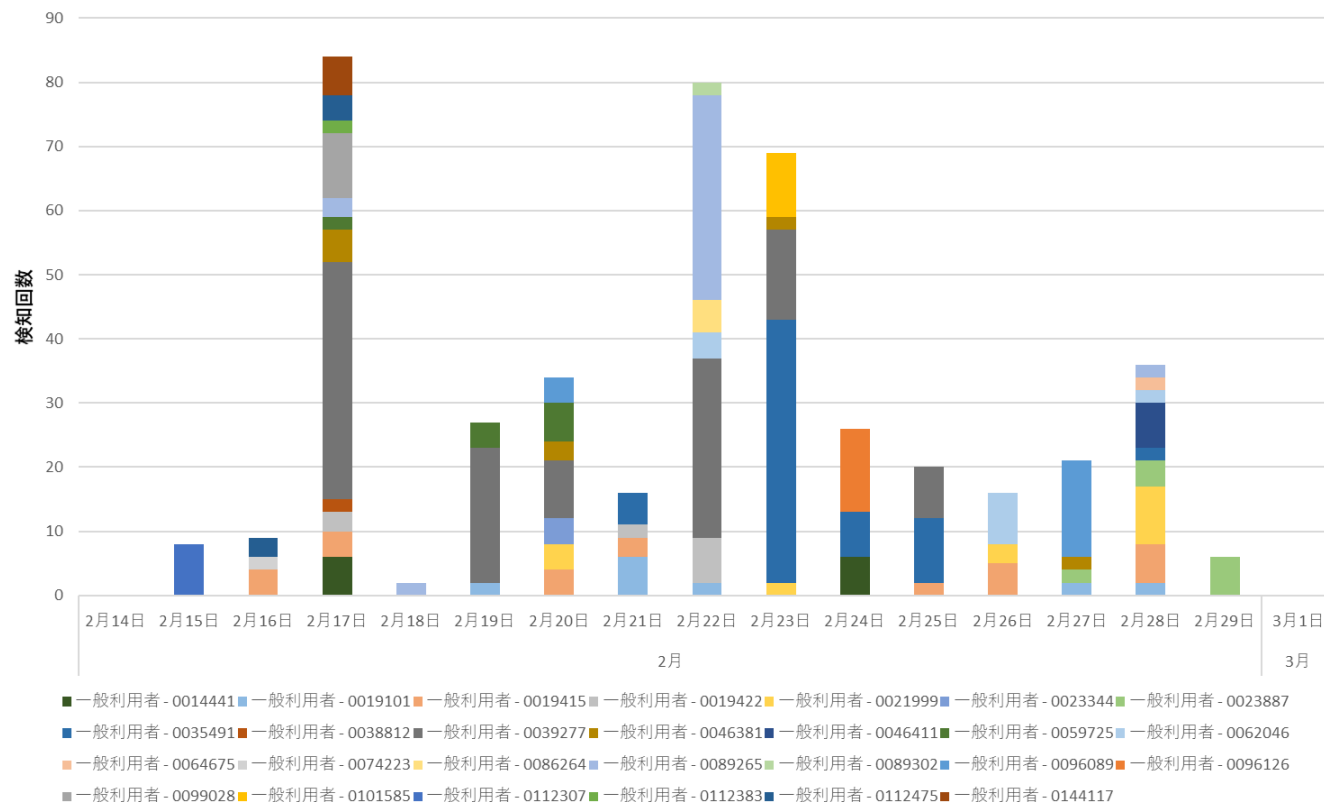
取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<見守りサービス連携サイネージ>

- ②の成果：「搜索依頼」機能開発に伴い、検知器としての運用も可能になった。
検知実績は下記の通り。(2月14日と3月1日は検知器の運用無し)

検知器内蔵サイネージ 検知実績



取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<見守りサービス連携サイネージ>

- ③の成果：見守りの認知度向上効果には少なくない成果があったものの、割合としては課題が残ったと考える。設置場所や表示時間の再検討など、工夫が必要。
- 見守りサービスの認知度は43%であった。(市内在住者に限定すると50%)
 検索依頼コンテンツは有効なので、本サイネージで認知度向上をすることが望ましい。

効果	質問または集計内容	回答種類	割合
日常生活向上	サイネージにより、改札前で天気予報を確認できると便利ですか？	大変そう思う+まあそう思う	81%
	サイネージがなくなり、改札前でバス停の場所を確認できなくなると、不便ですか？	大変そう思う+まあそう思う	66%
	市外在住の方：サイネージバス案内によって不便なく安心してバスを利用できると思いますか？	大変そう思う+まあそう思う	80%
防災情報	非常時にサイネージに避難情報などが表示されたら助けになりますか？	大変そう思う+まあそう思う	92%
	サイネージに表示されて役に立つコンテンツはありますか？	気象警報・注意報	66%
		緊急地震速報	65%
パソコンが苦手な 人に届きやすい 情報提供	初めて知った市政情報があつた割合	～20代	80%
		30～40代	76%
		50～60代	74%
		70代～	70%
	非常時にサイネージに避難情報などが表示されたら助けになりますか？	～20代	100%
		30～40代	97%
		50～60代	94%
		70代～	82%
旅行者に届きやすい 情報提供	市外在住の方：サイネージバス案内によって不便なく安心してバスを利用できると思いますか？	大変そう思う+まあそう思う	80%
	加古川市外の人に届きやすい情報	初めて知った市政情報があつた割合	69%
見守りの認知度向上 (犯罪抑止効果への 寄与)	加古川市が取り組んでいる見守りサービスを知っていましたか？	知っていた	43%
		知らなかった	57%
	見守りサービスを知らなかったと答えた人のうち、サイネージで初めて知ったと答えた割合	～20代	29%
		30～40代	25%
		50～60代	35%
		70代～	30%
	<検索依頼>見守りタグアプリの検索依頼対象者が、サイネージの側にいると下記コンテンツを表示して周囲の人に周知する機能を予定しています。下記のコンテンツをみて、みまもりアプリを利用しようと思いましたか？	大変そう思う+まあそう思う	54%

取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

■ 取組実績(定量的な目標と成果)・成果物

<見守りサービス連携サイネージ【成果まとめ】>

- 防災情報ほか各種の情報発信はもちろん、見守りサービスの「検索依頼」と連携できるよう開発したサイネージを設置し、日常生活の質の向上、および、見守りサービスとの連携によって犯罪防止効果に寄与することを実証する。
 - 定量目標 : 日常生活の質の向上、および犯罪防止効果に寄与する。
 - ⇒評価① アンケートでサイネージによる情報発信の効果を評価する。
 - ⇒結果 : サイネージによって初めて情報を知ったという声も多く、弊社の見守り連携サイネージの有効性を実証できたと判断する。
 - ⇒評価② 見守りサービスの「検索依頼」をサイネージでテスト発信
 - ⇒結果 : 問題なし。
 - ⇒評価③ 見守りサービス連携のサイネージによって見守りサービスの認知度がどの程度向上したのか
 - ⇒結果 : 「知らなかった」と答えた人のうち、30%程度がサイネージで初めて認知した。
- 「見守りサービス連携サイネージ」のハード、検索依頼に関するAPI連携、検索依頼の発信画面、コンテンツ配信管理システムが完成した。
検知器としての運用も可能になった。

■ 今後の展開

<検知器を内蔵した照明器具>

- 下記課題が明らかになったため、これに対応した、新たな照明器具用検知器の開発と商品化の検討をおこなう。
 - 照明器具が設置される場所は高所のため、樹木などによる電波吸収の影響を考慮し、電波強度・アンテナの最適化が必要
 - 照明器具の耐用年限(寿命)である8~10年分の連続稼働を前提とした設計の最適化が必要
 - メンテナンスに備え、交換やメモリのリセット作業が容易な構造が必要

<サイネージ>

- 商品化の検討
 - 「見守りサービス連携サイネージ」のハード、検索依頼に関するAPI連携、検索依頼の発信画面、コンテンツ配信管理システムが完成したので、これの商品化を検討する。
 - 検知器としての運用について、長期信頼性の評価をおこなう。
- その他、下記に対応した機能の開発を検討する。
 - 災害情報、気象情報を求める声が多いので、これに対応した画面構成、表示パターン
 - 時刻表を常時表示できるような画面構成